

議席6番 上田 圭佑 議員 ～ひとに優しいまちづくりの提案～



**上田議員** 「向陽坂」を例に、普段から感じている危険について触れ、道路を拡幅することが難しいことを理解した上で、時間帯によって交通の流れをコントロールするなどの方策が考えられるのではないかと提案しました。また、交通モラルを啓発する看板の設置はできないかと要望しました。

**町長** 現在、障害者や高齢者にもやさしい道づくりを目指していることを説明しました。一方通行化や時間制限については地域の皆さんの理解が必要であり、行政が一方的に行うのは難しいと説明し、その点をご理解いただきたいと答弁しました。しかし、運転する側と歩行者側の両方がルールを守ることが必要であり、その啓発活動はしていきたいと述べました。また、危ない箇所については引き続き道路標示や歩道の設置等進めていきたいと答弁しました。

議席7番 宮坂 駿一 議員 ～下諏訪町の観光への関わりについて～

**宮坂議員** 万治の石仏について、観光客が車に乗ったままでも分かる大きな看板や高速道路を利用する車向けの案内看板の設置と自然環境に配慮した遊歩道の整備を提案しました。加えて浮島周辺は安全に遊べる場所となれば観光スポットにしていくこともできるのではないかと提案し、関連して砥川の整備について質問しました。



**町長** 看板設置には景観や費用、設置場所の皆さんの理解等いろいろな問題があることを説明し、現在研究・検討していると答弁しました。特に下諏訪町の風情を大切に景観計画を策定中であること、まち歩きを楽しんでもらえるまちづくりという理念を大切にしながら進めたいという考えを述べました。歩道の整備については本年度事業で改修工事をする予定であること、砥川の整備については河川管理をする県へ要望させていただいていることを説明しました。

議席8番 伊藤 了麻 議員 ～いずみ湖公園の有効活用による町の活性化について～



**伊藤議員** いずみ湖公園について、町の活性化につながるよう、もっと有効に活用できないかという面から、合宿に来る学生達に施設を活用してもらうことで利用者が増えるのではないかと提案し、文化的活動の拠点として野外音楽堂を整備したうえ、「森の中の音楽祭」を開催するのはどうかと提案しました。

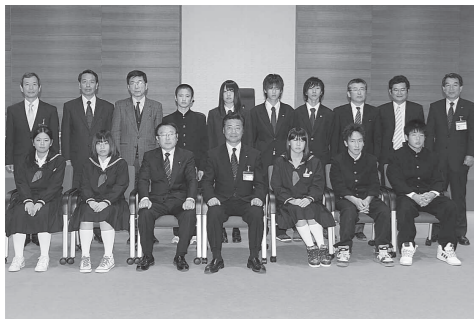
**町長** いずみ湖への道は狭くマイクロバス等で行くことが困難であり、合宿での利用者のアクセスの問題について指摘しながら、ワゴン等で行くことができるような少人数等の合宿に利用してもらえればありがたいと答弁しました。野外音楽堂については、自然環境を壊さずに整備ができるか、音を出したときに他のスポーツの利用者とうまく融合できるか等の問題についても考えながら、研究・検討してみたいと答弁しました。

議席9番 守屋 彪斗 議員 ～下諏訪町の伝統ある工業の技術の継承・発展について～

**守屋議員** 若者が下諏訪町の伝統ある工業に目を向ける機会を作ってほしい、例として小・中学生にもものづくりができる場を提供してもらえないかと要望しました。さらに、将来の仕事について具体的に考えることができるということから、企業や工場の見学ができるように町としてバックアップしてほしいと要望しました。



**町長** ロボットづくりコンテスト等町の施策や儀象堂での時計づくり体験・奏鳴館でのオルゴールづくり体験について紹介し、具体的な要望があればそのような機会を提供していきたいと答弁しました。また、今年度から設置された「ものづくり支援センター」や儀象堂などを窓口と考えており、企業の皆さんのご理解やご協力をいただきながら、企業や工場の見学ができる形がとれるよう努力をしているところであると答弁しました。



最後は全員で記念撮影

**若い力に胸ふくらむ**  
 それぞれの議員の皆さんには素晴らしい提案、ご意見をいただき、素晴らした。多くの期待を持って臨んだ議会であり、すばらしい議論が皆さんと交わされたと思います。こういった若い皆さんが、この町を今後もしっかり支えてくれるんだ、そんなことを確信できる今日でありました。これから、グローバルな地球規模でものを考えなければならぬ時代になります。ですから広い視野でいろいろのことをとらえてもらいたいと思います。そして、それぞれの場面で活躍できる、そんな大人に成長して欲しいと思います。今日の思いを忘れることなく、しっかりと勉強に励み、立派な大人になっただけでなく、心からそう願っています。  
 (町長の講評より)

質問と答弁の全容につきましては、町のホームページで「しもすわ未来議会本会議録」を掲載しています。

明日を担う 若い世代の声 **しもすわ未来議会(一般質問 要旨)**

議席1番 長井 成道 議員 ～下諏訪町の環境について～

**長井議員** 砥川について、危険箇所を柵を設置できないか。また、狭く危険な通学路について、道幅を広くしガードレール設置の検討ができないか質問しました。さらに、下諏訪町を綺麗にする活動について、学区に花を贈る活動や清掃活動の例をあげて提案しました。



**町長** 砥川については、親水性の面から柵で囲うことはできる限りしたくないが、ガードレール等の設備は今後考えていると答弁しました。また、危険と思われる4m以上の道幅がある道路については、ラインを引くことで対応していきたいと答弁しました。最後に、地域でも花壇整備や公園整備など多くの皆さんにご協力いただいていることを説明し、学校としても引き続き地域の一員として協力をお願いしたいと述べました。

議席2番 石川 由莉亜 議員 ～下諏訪町のまちづくりについて～



**石川議員** スポーツ環境の整備について、多種多様なスポーツに気軽に取り組める場として「公共スポーツ公園の設置」を提案しました。

**町長** 現在防災公園化を進めている赤砂崎を多目的の公園として位置づけることはできるだろうと述べ、今回の意見を参考にし、公園化事業を進めたいと答弁しました。

**石川議員** 次に、下諏訪町の合併に対する町長の考えについて質問しました。

**町長** 平成16年の合併の経過について説明し、効率的な行政のために合併は必要であるという考えの一方で、それが地域の良さや特色が失われる合併であってはならないという考えを述べました。また「広域連合」の組織について説明し、現在は6市町村で協力できることはやっていこうという姿勢を持って、協力しあっていると答弁しました。

議席3番 小口 純枝 議員 ～被災地支援活動について～

**小口議員** 学校での被災地等への支援活動について触れ、これまで以上に視野を広げるために町での活動や支援の窓口について質問しました。また、自分たちが活動していくため町として支援をしてほしいと要望しました。



**町長** 今年3月の震災を受けての支援物資や職員派遣等による町の支援活動について説明しました。支援の窓口については、行政が窓口となるのか、学校が直接行うのかなど様々な方法論があるとし、行政・民間・住民それぞれができることをわきまえて、協力しながら活動していくことが大切だと述べました。また、必要な支援については、具体的に相談していただければ町としても協力していきたいと答弁しました。

議席4番 宮沢 文菜 議員 ～観光資源としての外湯の有効活用～



**宮沢議員** スタンプラリー形式で外湯を回ってもらいポイントに応じて景品を進呈すること。また、「あざみ号」などで外湯同士をつなぐラインを作ることを提案しました。さらに、外湯の共有イメージを持つことが有効ではないかと提案しました。

**町長** 観光客の皆さんにも銭湯を利用していただきたい思いがあることを伝え、旅館組合でもいろいろな仕組みを作っていたいただいていることを説明しました。また、あざみ号には当初観光施設を巡るコースがあったことを説明し、現在はバスでの銭湯めぐりは難しいとは思いますが、まち歩きが楽しめるまちづくりをめざしていることから、ぜひ歩いてめぐってもらいたいと述べました。そして共通イメージを作ることにについては、銭湯の皆さんの協力をいただけるような形をつくっていききたいと答弁しました。

議席5番 渡辺 帆純 議員 ～和楽器を通しての交流について～

**渡辺議員** 学校の講座で触れてきた和楽器について、学校以外でも中学生が和楽器に触れる機会を得るために、町で行われている催しについて質問しました。また、町として高齢者や障害のある方と触れあう場を作してほしいと要望しました。



**町長** まず町民音楽祭などが開催されていることを説明しました。そして、高齢者福祉施設の「ハイム天白」や子育てふれあいセンター「ぼけっと」など町のいろいろな施設で和楽器の演奏を聴かせていただけたら、利用者の皆さんに喜んでいただけるのではないかと答弁しました。また、成人式で両中学校が交互に太鼓や琴の発表をしていることに触れ、今後もそのような活動を続けてほしいと述べました。